

(1) 現状・課題

- 京都市では、自動車に依存しすぎない人と公共交通中心の移動を推進し、自転車が都市を支えるインフラとして、市民や観光客など京都に関わる全ての方に親しまれるまちを目指している。
- 一方で、近年では自転車事故件数が下げ止まりの傾向にあり、依然として基本的なルールが守られていない状況があることに加え、青切符制度の導入や特定小型原動機付自転車（電動キックボード等）の登場など、自転車を取り巻く環境が大きく変化している。
- 自転車のみならず歩行者や自動車・特定小型原動機付自転車等の利用者に対し、ルールの徹底と思いやりの意識醸成を図る必要がある。

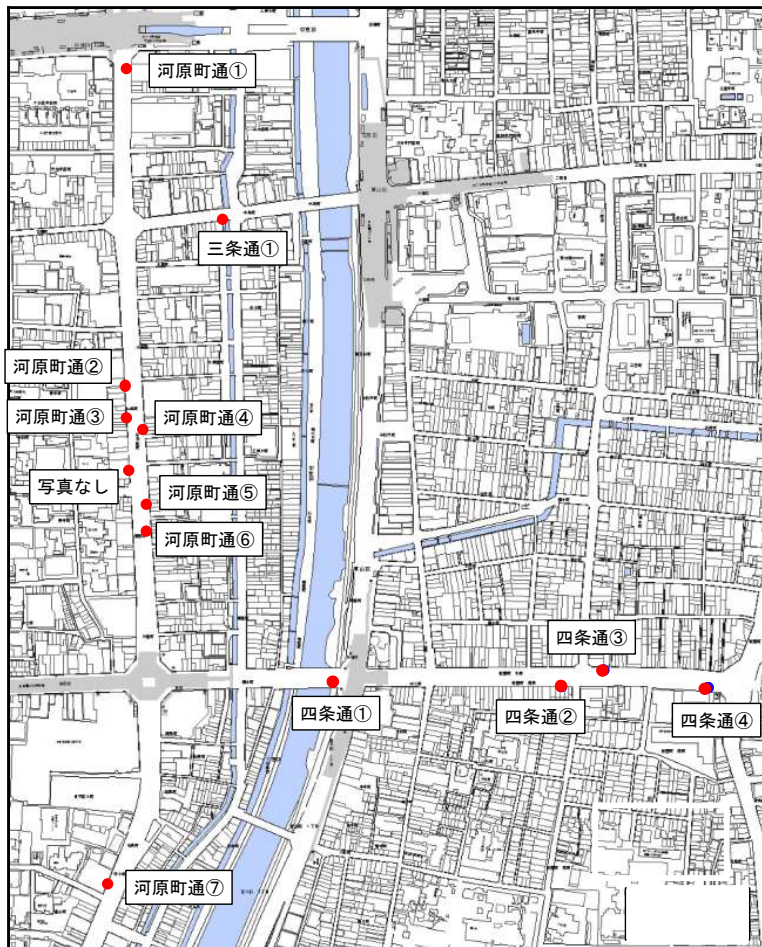
電動キックボードについては、自転車と走行空間がほぼ同じであり、互いに安心安全に走行可能とするためには、電動キックボード利用者をはじめ、歩行者や自転車利用者などすべての方に走行ルールや特徴を理解いただくことが重要であることから、自転車利用の啓発にあわせて様々な場面で啓発を実施している。

まちなかにおける自転車安全利用の取組

(2) まちなかにおける京都市や商店街等の取組（現地での周知）

- 都心部の通行規制箇所についての路面表示の設置、横断幕等の設置

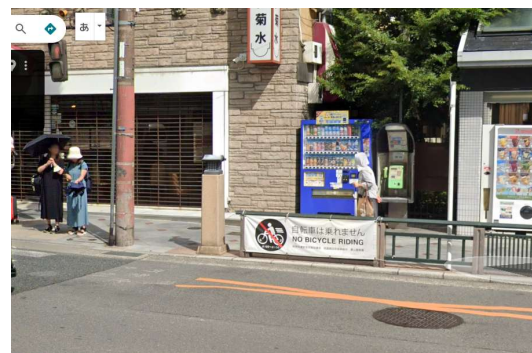
通行禁止路面表示設置箇所図



通行禁止路面表示



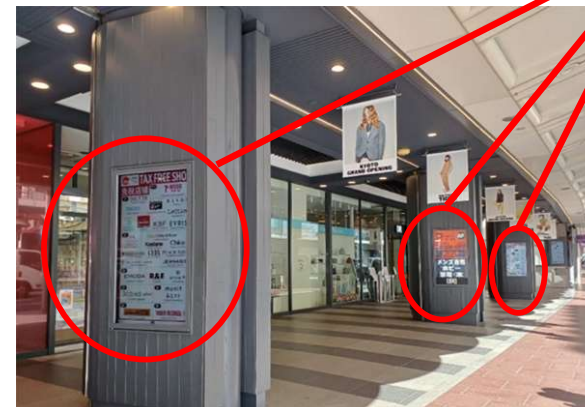
通行禁止の横断幕や看板



まちなかにおける自転車安全利用の取組

(2) まちなかにおける京都市の取組（啓発、ルール周知）

- 「都心部の自転車マナーを向上させる会」における街頭啓発（年数回）、京都府警察や地域等と連携した街頭啓発（不定期）
- 本市ホームページ「京都市サイクルサイト」、啓発冊子「Enjoy 自転車 life in Kyoto」での都心部の通行規制箇所の周知
- フリーペーパー「ハンケイ500m」や河原町OPA前のデジタルサイネージを活用した自転車及び電動キックボードのマナー啓発を実施（令和7年度）



まちなかにおける自転車安全利用の取組

(3) 京都市の取組（外国人観光客への周知）

- 旅マエにおける周知・啓発
 - ・ 「京都市サイクルサイト」や公式SNS、
 - ・ 京都市観光協会の観光客向けサイト「京都観光Navi」、「Kyoto City Official Travel Guide」（外国語サイト）
 - ・ ぐるなびの観光客向けサイト「LIVE JAPAN」
 - ・ インターネット広告（You Tube広告など）



啓発動画（日本語、英語、韓国語、中国語、スペイン語、フランス語）

- 旅ナカにおける周知・啓発
 - ・ 多言語でのルール・マナー啓発のリーフレット、チラシを活用し、関西国際空港や京都総合観光案内所での配架やレンタサイクル事業者を通じた利用者への説明など、観光客とのタッチポイントでの周知・啓発を展開



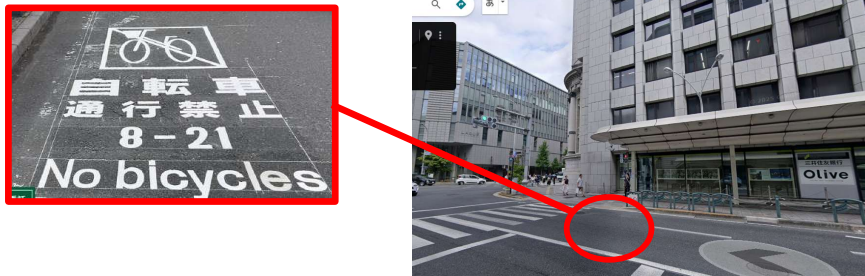
啓発チラシ（英語、中国語（繁体字・簡体字））

まちなかにおける自転車安全利用の取組

(4) 今後の取組

○ 現地での周知

- ・ 通行禁止路面表示が設置されていない四条通（烏丸通～河原町通間）への設置



- ・ 河原町通への啓発看板の設置
※パレット河原町商店街で実施予定



啓発看板のイメージ。
文言は調整中。

○ 外国人観光客への周知

- ・ フリーペーパー「JAPAN GOOD TIME(KYOTO・OSAKA・KOBE) '26年8月※」への啓発広告の掲載

※関西のインバウンド人気施設や飲食店、ホテル、観光案内所等で配布



- ・ 京都の観光マナーの特設サイトや観光マップに自転車ルールや都心部の通行規制に関して記載